

平成26年 大館市の10大ニュース

| 順位 | 項目 | 説明 |
|----|---------------------------------------|--|
| 1 | 本庁舎建設基本構想案を策定、パブリックコメントを経て庁舎建設に一定の方向性 | <p>本庁舎建設基本構想案を策定し、広報おおだて等でパブリックコメントを募集したところ、1,090人から意見が寄せられた。約6割のかたが建設候補地は現庁舎敷地及び周辺が良いとしたほか、桂城公園の整備・拡張、大館駅前再整備、比内・田代庁舎の利活用、財政負担の軽減を望む意見が多かった。</p> <p>議会特別委員会で建設候補地が市民体育館の場所とされたことを受け、今後、基本計画策定の中で、敷地範囲の確定、全体事業費の算出のほか、桂城公園の整備、拡張等のパブリックコメントの意見を反映させるべく取り組んでいく。</p> |
| 2 | 26年産米の概算金の大幅下落と対策 | <p>平成26年産米の本県における概算金が、60キログラム当たり8,500円と過去最低水準で決定された。市は、米価下落に対する緊急及び需給安定対策として、県創設の無利子融資制度の保証料0.5%を助成するとともに、ふるさと納税者にプレゼントする特産品「大館産あきたこまち」の内容を充実することとしたほか、新年度に向けた4つの対策案を決定した。</p> |
| 3 | ふるさと大館応援寄附金が約8,400万円と大幅増加 | <p>昨年度大幅に増加したふるさと納税は、その勢いが止まらず、12月15日現在で、件数が5,431件、金額が約8,400万円（26年度：1,624件、2,829万円）を突破した。県内では断トツの件数、金額である。主な要因は、比内地鶏、きりたんぼセットなどの地元特産品プレゼントの魅力が浸透したこと、ふるさと納税ポータルサイトのふるさとチョイスにおいて6月からダイレクト申込みフォームを開設したことにより、寄附が容易にできるようになったことなどが挙げられる。来年1月1日から特産品リニューアルを行い、大館の魅力発信をさらに進める予定。</p> |
| 4 | 大館「ふるさとキャリア教育」総理大臣表彰はじめ全国表彰相次ぐ | <p>地域住民とともに『防災教育』に取り組んできた第二中学校の「安全功労者内閣総理大臣表彰」をはじめ、『釈迦内サンフラワープロジェクト』が教育部門では民間最高峰の賞となる「博報賞」と「文部科学大臣奨励賞」を受賞したほか、『エソタンボボの保全活動』に取り組む長木小学校と、『読み聞かせ』の来聞の会も「文科大臣表彰」を受賞した。教育における地道な活動が全国的に評価されている。</p> |
| 5 | 治水対策事業（河道掘削、築堤など）が本格開始 | <p>米代川の治水対策として、国では、田代地域の外川原地区下流の河道掘削、及び川口地区・山田渡地区の築堤に向けた事業説明会開催や現地調査に着手した。河道掘削完成後は、洪水時の水位が1.5m程度下がる見込み。一方、県では、下内川と長木川の河川改良に向けた事業計画の策定や一部用地買収に着手した。</p> <p>これらの事業により平成25年8月のような豪雨の時でも流下可能な川幅が確保され、根本的な治水対策として期待している。</p> |
| 6 | 企業誘致、新規投資好調の波続く | <p>市内における積極的な民間投資は続いており、平成26年度はメガソーラーの建設工事も含め上半期だけで10社が約49億円規模の設備投資を行い66人の新規雇用につながった。平成24年度からの累計では、32社、投資額約255億円、直接的な経済波及効果は約508億円、新規雇用者数はパートを含め273人までに達した。この設備投資好調の波は26年度下半期以降も続く見込みである。</p> |
| 7 | 「国民文化祭・あきた2014」、「本場大館きりたんぼまつり」の開催 | <p>10月4日～11月3日の1か月間、県内各市町村で「第29回国民文化祭・あきた2014」が開催された。本市では、「マーチングバンド・バトントワーリングの祭典」、「ゴスペル音楽祭in大館2014」、「食文化フォーラム」、「ゼロダテ美術展」の4つの事業を開催し、盛況のうちに終了した。</p> <p>また、大館樹海ドーム開催3年目となった第42回本場大館きりたんぼまつりが10月12日～14日の3日間開催され、国民文化祭との相乗効果もあり、過去最高となる12万人の人出を記録した。</p> |

| | | |
|----|-----------------------------------|--|
| 8 | 空き公共施設利活用の取り組みが「全国の地方分権優良30事例」に選出 | <p>6月に内閣府から全国自治体の優良事例として、「全国の地方分権優良30事例」に本市の『空き公共施設利活用の取り組み』が選出され、一般国民向けの事例集として配布された。また、自治体職員向けの「100事例」にも選出されて全国自治体に紹介された。さらに(財)地域活性化センター発行の「地域づくり11月号」でも全国12例として紹介され、全国自治体や街づくり団体などに配布された。</p> <p>旧白沢通園センター（株式会社東北センバ：山の芋の皮むき作業所） 旧葛原保育所（秋田比内や株式会社：比内地鶏等の加工等） 旧三岳小学校（株式会社東北センバ：山の芋の皮むき作業所）</p> |
| 9 | 釈迦内産業団地におけるインフラの整備と企業立地が進展 | <p>平成25年度の敷地造成及び市道整備を受け、10月から木材流通センター、木材チップ工場の操業が順次開始された。さらに当該2社から拡張用地の希望があったこと、また、新規立地を目指す企業2社との交渉が進んだことを踏まえ、新たな造成に着手するとともに、今後多様な産業の誘致に期待を込め、同エリアの名称を「釈迦内産業団地」と定めた。</p> |
| 10 | 田代岳遭難事故。親子の絆で奇跡の生還 | <p>田代岳周辺で6月15日にタケノコ採りに行った親子(母子)二人の遭難事故が発生。 大館市田代地域遭難対策協議会などが総力を挙げて4日間にわたり捜索したものの発見できず、一旦は捜索が打ち切られたが、6月25日、10日ぶりに青森県大鰐町側で発見され、奇跡の生還を遂げた。</p> |
| | その他のトピックス | <p>各方面との災害協定が進む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互応援（茨城県常陸大宮市） ・液化石油ガス等の調達（秋田県LPガス協会） ・応急対策への協力（秋田県自動車整備振興会大館北秋田支部） ・道路啓開支援（大館警察署、大館市建設業協会） <p>8月1日大葛地域で集中豪雨発生 3R推進プラザ施設新築工事完了 平成25年度収納率が県内13市でトップ 福祉、介護サービスの基盤整備が進む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設（2施設） ・介護老人保健施設 ・グループホーム（2施設） ・大館市基幹相談支援センター ・病児保育施設（事業委託） <p>有効求人倍率が統計史上初の大台超え！高卒予定者の地元就職志向が強まる 市営新町住宅他建替え事業の変更事業契約議案が9月議会で可決 市道二中長面袋線新設事業で、新設橋梁名を『長者森橋』に決定 「比内とりの市」、「比内縦断駅伝」が30回目の開催 大館産ブランド豚「大館さくら豚」デビュー 大人も子どもも各種大会で大活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江野麻由子選手（一中出身）がソチ冬季パラリンピック出場 ・田代中、有浦小が相撲で全国大会上位入賞 ・下川沿ユニカールサークルが全国大会優勝 ・大館市チームが全県25市町村対抗駅伝の初代王者 ・9人制バレーボール東日本大会で二プロが優勝 <p>高館公園テニスコートで天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会が開催 下川沿公民館の改築工事を実施 電子カルテを含む「新医療情報システム」が稼働（総合病院） あきたハートフルネットの利用開始（総合病院） 消防デジタル無線設備が完成</p> |